

1 小単元名 「わたしたちの生活と情報」～情報と社会～

2 授業構成

(1) 教師と教材

本単元での学習内容は、「通信などの産業が生活の向上や産業の発展に影響し、これらの産業に従事する人々の工夫や努力を見学したり資料を活用したりして調べ、具体的に考える」ことである。

子どもたちは日々発達し複雑化する様々な情報やそれを伝える機器に取り囲まれている。それは子どもたちの生活や行動の基準、時として価値観の形成に多大な影響を与えることもある。とくにその中でもテレビ放送は日常生活の環境の一部分になっている。その中でも民間放送の運営を支えるコマーシャルは、番組以上に子どもたちの生活に染み付いていると言ってもいい。

テレビコマーシャルという生活環境の一部となっている事柄について、興味・関心を持ったり、コマーシャルの構成や特徴がどのようになっているのかを調べたりすることは、情報がどのような意図や目的があって発信されるのか、生活にどのような影響を与えるのかを考えさせるのに大切なことであろう。

そこで、本時は好きなコマーシャルや印象に残ったコマーシャルを思い出させたり、1時間の番組の中でどれくらいの時間コマーシャルが流れているのか予想させたりして、コマーシャルに興味関心を持たせる。そして、テレビコマーシャル映像を見て、コマーシャルの構造を分析させコマーシャルを読み取り、その特色をとらえさせる。そのような活動を通して、コマーシャルが効果的に情報を伝えていることに気づかせ、コマーシャルと自分たちの関わりや、コマーシャルを見るときに気をつけることを考えさせたい。

(2) 子どもと教師

これまでに子どもたちは我が国の食料生産や工業生産の学習を積み重ねてきた。食糧生産の学習では、スーパーのチラシを利用して、自分たちが鳥取で食べている食料の産地マップを作る活動を行った。この活動を通して、外国から輸入した食料が多いことや地域によって盛んに生産されている農産物や水産物があること、「地産地消」の取り組みのことに気づいていった。また、食料自給率から、食糧生産の今後について考えた。「日本は大豆の輸入を進めるべきか自給を進めるべきか」というテーマで意見交換会を行ってきた。その中で食料の安全性や価格、国際関係について考え、さらに今後どのような政策をとったらいいのか子どもたちなりに探っていった。

工業生産の学習では、自動車作りについて自ら調べたいことを決め、図書や資料集、教科書、各メーカーのパンフレットやビデオなどを使い、図解として1枚の紙にまとめていった。また、自動車の利点、問題点を考え、楽しみながら環境や人に優しい未来の車を創造していった。

水産業の学習では、カツオ漁の写真を様々な視点で読み取り、気がついたことや疑問に思ったことを出し合い、各自が課題をもって学習を進めていった。

本時の学習では、テレビコマーシャルの録画ビデオ（映像）を見て、そこに盛り込まれている情報を整理して、その特色を調べる活動を通して、コマーシャルと自分のかかわりについて考えさせていきたい。

(3) 子どもと教材

テレビコマーシャルは子どもたちの日常生活に子どもたちが意識するしなないに関わらず、大きな影響を与えている。また、コマーシャルは民間放送の経営を支えるテレビの本質であり、番組の合間にコマーシャルが流されていると言ってもいいのである。子どもたちとテレビの情報の大きな接点であるコマーシャルを「細かく分解」して、その構造や特徴について読み取らせることは、自分と情報の関わりを子どもたちに気づかせ、これからのかかわり方を考えさせる一つの方法になると考える。

子どもたちはこれまで、コマーシャルの真似をしたり、フレーズを口ずさんだりはしているが、コマーシャルを深く見つめる機会をもっていない。「映像」、「音響」、「言葉」などの視点を示して、読み取らせることにより新たな発見があるだろう。コマーシャルの録画を繰り返して見て、それぞれの視点によりワークシートの表にまとめてさせる中で、作り手の意図や工夫を理解していくだろう。そして、お互いに気がついたことを話し合うことによって、さらに自分とテレビコマーシャルの関係を改めて見直し、考え直すだろう。

3 小単元の目標

◎情報はわたしたちの生活や産業の中でどのような働きをしているのかを調べ、情報を収集・分類し活用しようとする。

◎情報は、わたしたちの生活や産業の中でどのような働きをしているのかを調べ、我が国の通信などの情報産業が国民生活に大きな影響を及ぼしていることを考える。

4 学習計画

月	内容の 区分と資料	時	学習事項	目 標		観 点				
				◎ 内 容 目 標	※ 行 動 目 標	技 能	知 理	思 判	表 現	関 意
				学習課題・発問						
11月	単 元 名 わたしたちの生活と情報									
	単元の目標 わたしたちの身の回りにある多種多様な情報の中から、必要とする価値ある情報を見分けて、収集し、情報の働きや意味を考えて発信しようとする。									
12月	放送局の働き	5	◎ 放送局では働く人々がそれぞれ互いに連携を取り合い、正確な情報をわかりやすく伝える工夫や努力をしていることを調べようとする。							
	〔資〕 ニュース番組の録画ビデオ	(1)	○テレビと生活	※テレビと生活とのかかわりについて話し合い、テレビ番組がどのように作られているか予想し、調べる計画を立てる。 台風接近のニュースが放送されるとき、放送局の人はどんな仕事をしているのだろうか。						○
	〔資〕 放送局のパンフレット、ビデオ	(2)	○ニュースをつくる	※資料をもとに、ニュース番組がどのようにつくられているのか調べ、まとめる。 ニュース番組が放送されるまでの順序を資料を使って調べよう。			○			○
		(1)	○ニュースを放送する	※調べ、まとめたことを出し合って、ニュース番組がつくられるまでの過程を知り、どのような工夫や努力がされているか話し合う。 ニュース番組をつくっている人たちはどんな工夫や努力をしているのだろうか。				○	○	
	〔資〕 海外からの衛星放送の録画ビデオ	(1)	○世界と結ぶ放送	※世界のニュースがどのように日本に送られているか調べ、世界との関わりを考える。 世界で起こった出来事を日本で見るができるのはなぜだろうか。				○		
	情報と社会	6	◎ 情報はわたしたちの生活や産業の中でどのような働きをしているのかを調べ、情報を見分け、情報を収集し、活用しようとする。							
	〔資〕 テレビCMの録画ビデオ	(1)	○コマーシャルのひみつ (本時)	※ 効果的に情報を伝えるためにコマーシャルは、映像、音声、キャッチコピーなどを駆使してつくられていることを調べる。 ・コマーシャルを分解してみよう。			○		○	○

資	松本サリン事件の新聞記事等	(1)	○テレビや新聞と情報	※テレビニュースの内容や新聞記事の見出しを比較して調べテレビや新聞報道の影響力の大きさを話し合う。 ・ テレビなどから得た情報で、役に立ったものや失敗したものはなかっただろうか。 ・ 誤った情報が流されるとどんなことが起こるだろうか。	○	○	○
資	コンビニのレシート	(1)	○情報を生かす	※ 情報を効果的に活用している産業について具体的に調べ、自分たちの生活と情報のかかわりについて話し合う。 ・ コンビニはどのように商品の注文をとっているのだろうか。	○	○	○
資	携帯電話のパンフレット	(1)	○コンピューターと情報社会	※コンピューターと通信に依存している社会の様子を調べ、情報に囲まれた自分たちの生活がこれからどうなっていくか話し合う。 ・ コンピューターと通信は、わたしたちの生活にどのようにかかわっているのだろうか。	○	○	
		(2)	○情報を発信しよう	※情報を正しく、速く、わかりやすく伝えるために、どんなことに注意すればよいかを話し合い、まとめた情報を発信する。 ・ 情報を正しく、分かりやすく伝えるために、どんなことに注意したらいいのだろう。	○		○ ○

5 本時の学習について

(1) 本時の目標

- 効果的に情報を伝えるために、コマーシャルは、映像、音声、キャッチコピーなどを駆使してつくられていることを調べ、コマーシャルが自分たちの生活にどのような影響を与えているのか具体的に考えることができる。

(2) 本時の予想される児童の活動

- 好きなコマーシャルや印象に残ったコマーシャルを思い出したり、1時間の番組の中でどれくらいの時間コマーシャルが流れているのか予想したりして、コマーシャルに興味・関心を持つ。
- テレビコマーシャル映像を見て、コマーシャルの構造を分析し、コマーシャルを読み取り、その特色をとらえる。
- コマーシャルが効果的に情報を伝えていることに気づき、コマーシャルを見るときに気をつけることを考える。

(3) 本時の展開

学 習 活 動	教師の支援と評価（※）
1. テレビコマーシャルについて感じていることを出し合い、コマーシャルについて興味・関心を高める。 ・音楽が好き。 ・好きなタレントが出ている。 ・商品に興味がある。 ・ストーリーやせりふがおもしろい。 ・キャラクターがかわいい。 ・画像がきれい。	1. 好きなテレビコマーシャルや印象に残ったテレビコマーシャルについて発表する。そのとき、どういったところが好きか、印象に残ったか聞く。 ○テレビコマーシャルが番組で主要な部分であることを示すために、1時間番組でどれくらいの時間を占めるかをクイズとして出す。
テレビコマーシャルを細かく分解してみよう。	
2. テレビのコマーシャルを見て、30秒のコマーシャルがどのような構成になっているか読み取る。 ＜映像＞・どんな場所か。 ・画面の色使いや明るさ ・場面の切りかえ数 ・カメラの動き ＜音響＞・流れる音楽。 ・ナレーションの印象 ・効果音の利用 ＜登場人物＞・表情、動き。 ・せりふ ＜全体＞・全体の印象、雰囲気。メッセージ 3. テレビコマーシャルの構成を調べて気がついたことを発表する。 ・短い時間にたくさんの場面が次々出てくる。 ・商品や会社の名前が良く目立つようにつくられている。 ・商品と直接関係無い背景や人物が出てくる。 ・短い言葉で商品のイメージを伝えている。 ・音楽以外にもいろいろな効果音が使われている。 4. コマーシャルの情報を見るときに気をつけた方がよいことについて自分の考えをまとめる。 ・繰り返し見ていると欲しくなってしまう。 ・商品の情報が十分でなくて、買ってかえって損をした。 ・本物を見てから買った方が良かった。 ・その商品が本当にいいものかどうか分からない。	2. 教科書p16の「学び方コーナー コマーシャルを読み取る」を参考にして、ワークシートの表に整理させる。 ○ある商品のコマーシャルを数回流して、読み取りが十分にできるようにする。 ○映像を軸として、それに音響や登場人物、キャッチコピーを対応させて黒板にまとめ、構成を分かりやすくする。 ※コマーシャルの特徴や伝え方の工夫を表にまとめて整理することができたか。 3. 比較の視点（映像、言葉、音楽を中心に）を再確認し、テレビコマーシャルの特徴を発表させる。 ○新聞や雑誌の広告と比較をさせることにより、テレビコマーシャルの構成の特徴や工夫をさらに明確にさせたい。 ○伝え手が短い間に印象深く内容を伝えるために映像や言葉、音楽などの様々な情報ををもちこみ、効果的に利用していることに気づかせたい。 4. 自分や家族の経験やテレビコマーシャルの特徴から分かったことをもとにして考えさせる。 ○繰り返し放送されることの影響についても問う。 ○テレビコマーシャルの情報だけにたよると正確な判断が難しくなること、時間をかけて判断することの大切さに気づかせたい。 ※情報を受け取る時に自分が気をつけたほうがよいと思うことをワークシートにまとめることができたか。

